

地域女性活躍推進交付金実績報告書(市町村分)

市町村名:山口県下松市

1. 事業名	女性活躍支援事業								
2. 実施期間	令和6年4月1日 ~ 令和7年2月26日								
3. 事業の趣旨・目的	女性活躍推進の前提となる、仕事と家庭生活の両立を支援するマネジメントや人材育成、制度の構築など、職場の環境整備について事業者に啓発を図り、男女がともに希望どおりの多様な生き方や働き方を叶えられる豊かで活力ある持続可能な地域社会づくりを目指すとともに、女性への家事育児等の負担が重くなっていることも女性の活躍を阻害する要因の一つと考えられることから、男性に対し家庭生活への参画促進の働きかけを行うため、また、女性に対しては、就労意欲や能力を高めるため、それぞれを対象としたセミナーを開催した。								
4. 事業内容	<p>事業番号①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者対象に働きやすく持続可能な職場づくり及び、若者に選ばれる地域社会づくり・職場づくりをめざすセミナーを対面で、女性対象に女性が自ら意欲を高め、キャリアアップにつながる就労意欲向上に資するセミナーを対面で、男性対象に父親の育児参画及び夫婦のパートナーシップに関するセミナーをオンライン及び動画配信で実施した。</li> <li>・事業者における女性活躍を推進するため、事業者向けセミナー開催の際、山口県の「やまぐち男女共同参画推進事業者」認証制度紹介チラシを配布して周知した。</li> <li>・子育て世帯の支援と、仕事と家庭の両立支援を目的として、男性向けセミナー参加者に「くだまる子育て応援アプリby母子モ」を紹介し、利用の促進を図った。</li> </ul>								
5. 事業の効果	参加者対象に実施したアンケートによれば、満足度は事業者対象93.6%、女性対象100%、男性対象のセミナーが95.2%と高く、それぞれ「地方はより一層産官学が連携して少子化対策に取り組む必要がある」「良いお母さんになるより幸せなお母さんになろうという言葉が印象的だった」「今と昔で育児や子育てに対する捉え方や考え方が、ずいぶん変わったのだと実感した。職場はまだ意識や体制が整っていないと感じた」などの感想が寄せられ、理解が深まり、気運の醸成が図られたと思われる。								
5-2. 効果検証の概要	次年度事業の実施に生かすため、下松市女性活躍推進協議会で効果検証と課題の整理を行った。								
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	(1) 事業目標	目標・KPI		目標値(時点)		報告時(時点)			
		セミナー等参加者数	(アウトプット)	定員の70%	(R6)	定員の98.3%	(R6)		
		評価		評価の理由、事情等					
		1.達成(予定含む)		チラシ、市HPなど、積極的な広報が実を結び、目標値をはるかに超えることが出来た。					
(2) 事業KPI	目標・KPI		目標値(時点)		報告時(時点)				
	セミナー等参加者の習熟度	(アウトカム)	参加者の70%	(R6)	参加者の97.9%	(R6)			
	評価		評価の理由、事情等						
	1.達成(予定含む)		セミナー講師の熱心な説明を参加者が真摯に受け止めた結果と思われる。						
7. 今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者向けに関しては、セミナー受講後アンケートから、大卒程度の女性が働きたいと思える事業者を増やすべき、との声があり、また、若年女性の転出が超過となっていることから産業振興担当課と連携し、引き続き女性活躍推進の前提となる、仕事と家庭の両立を支援するマネジメントや人材育成、制度の運用など、職場の環境整備を図る必要がある。</li> <li>・女性に対しては、こうした課題に対応するためにもモチベーションアップや就労継続に資する内容とし、参加を促進するテーマ設定を行い、講座を実施する必要があると思われる。</li> <li>・男性に対しては、受講後アンケートにおいて、育児やパートナーシップについての関心の高さや悩みを抱えている様子がうかがえたため、引き続き生産年齢の男性対象に家事・育児参画を促進する取組を継続し、ワーク・ライフ・バランスの推進と女性の負担軽減を図る必要がある。</li> </ul> <p>今後も、相応の集客を図るため、オンライン、動画配信、対面方式等、それぞれの特性を生かして、実施方法も検討することとする。</p>								
8. 事業の実施体制(連携の状況)	下松市女性活躍推進協議会構成事業所や団体等(下松公共職業安定所、下松商工会議所、市内事業所、学識経験者、市民)と連携し課題と現状を共有、事業実施にあたってテーマ設定や講師選定など具体的項目について協議を行った。また、セミナーの周知に協力を仰ぐとともに、参加者の推薦を依頼した。								
9. 経費の内訳	(単位:円)								
事業番号	個別事業名	公募要領の取組例	予算措置年度	交付決定事業	総事業費(A=B+C+D)	本交付金(B)	他の寄付金等(C)	自己資金(D)	備考
1	女性活躍支援事業	2(1)	6年度当初予算	6年度当初予算	668,950	334,000		334,950	
					0				
					0				
					0				
	合計				668,950	334,000	0	334,950	
10. 連絡先	所属部署:下松市健康福祉部人権推進課男女共同参画室 電話番号: 0833-45-1825 電子メールアドレス:jinken@city.kudamatsu.lg.jp								
11. 事業実施及び連携工程	様式4-2-1に記載								

注1)「9. 経費の内訳」の「事業番号」及び「個別事業名」は、様式4-1-2と整合性をとって記載してください。  
 注2)「9. 経費の内訳」の「公募要領の取組例」は、公募要領第2【取組例】(1)～(5)、第4【取組例】(1)～(5)、第5【取組例】(1)～(9)、第6又は第7【取組例】(1)・(2)から選択してください。  
 注3)「9. 経費の内訳」の「予算措置年度」は、実施主体における予算措置状況について「5年度補正予算」、「6年度当初予算」のいずれかを記載してください。  
 注4)「9. 経費の内訳」の「交付決定事業」について、「5年度補正予算」、「6年度当初予算」のいずれかを記載してください。  
 注5)「9. 経費の内訳」において「他の寄付金等」がある場合は、備考欄に内容が分かるよう記載してください。  
 注6)本様式はA4で3枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。

事業番号	①																								
1. 個別事業名	女性活躍支援事業																								
2. 実施期間	令和6年4月1日 ~ 令和7年2月26日																								
3. 個別事業費	668,950円																								
4. 個別事業の内容	<p>・事業者対象に働きやすく持続可能な職場づくり及び、若者に選ばれる地域社会づくり・職場づくりをめざすセミナーを対面で、女性対象に女性が自ら意欲を高め、キャリアアップにつながる就労意欲向上に資するセミナーを対面で、男性対象に父親の育児参画及び夫婦のパートナーシップに関するセミナーをオンライン及び動画配信で実施した。</p> <p>・事業者における女性活躍を推進するため、事業者向けセミナー開催の際、山口県の「やまぐち男女共同参画推進事業者」認証制度紹介チラシを配布して周知した。</p> <p>・子育て世帯の支援と、仕事と家庭の両立支援を目的として、男性向けセミナー参加者に「くだまる子育て応援アプリby母子モ」を紹介し、利用の促進を図った。</p>																								
<p>・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法 ⇒要件③「官民連携」</p>	<p>下松市女性活躍推進協議会構成事業所や団体等(下松公共職業安定所、下松商工会議所、市内事業所、学識経験者、市民)と連携し課題と現状を共有、事業実施にあたってテーマ設定や講師選定など具体的項目について協議を行った。また、セミナーの周知に協力を仰ぐとともに、参加者の推薦を依頼した。</p>																								
<p>・連携地方公共団体及び具体的な連携方法 ⇒要件③「地域連携」</p>	<p>山口県や周辺市と連携し、セミナーの実施について周知を図ったことにより、市内だけでなく、県内他市からの参加を促進することが出来た。</p>																								
<p>・交付金事業間連携、他施策との連携 ⇒要件④「政策連携」</p>	<p>・山口県と連携し、事業者における女性活躍を推進するため、事業者向けセミナーの際に山口県の「やまぐち男女共同参画推進事業者」認証制度紹介チラシを配布して周知した。</p> <p>・子育て世帯を支援し、仕事と家庭の両立支援を目的として、事業者向け、女性向けセミナーにおいて「くだまる子育て応援アプリby母子モ」を紹介し、参加の促進を図った。</p>																								
5. 事業の効果	<p>参加者対象に実施したアンケートによれば、満足度は事業者対象93.6%、女性対象100%、男性対象のセミナーが95.2%と高く、それぞれ「地方はより一層産官学が連携して少子化対策に取り組む必要がある」「良いお母さんになるより幸せなお母さんになろうという言葉が印象的だった」「今昔で育児や子育てに対する捉え方や考え方が、ずいぶん変わったのだと実感した。職場はまだ意識や体制が整っていないと感じた」などの感想が寄せられ、理解が深まり、気運の醸成が図られたと思われる。</p>																								
5-2. 効果検証の概要	<p>次年度事業の実施に生かすため、下松市女性活躍推進協議会で効果検証と課題の整理を行った。</p>																								
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標・KPI</th> <th colspan="2">目標値(時点)</th> <th colspan="2">報告時(時点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セミナー等参加者数</td> <td>(アウトプット)</td> <td>定員の70%</td> <td>(R6)</td> <td>定員の98.3%</td> <td>(R6)</td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td colspan="5">評価の理由、事情等</td> </tr> <tr> <td>1.達成(予定含む)</td> <td colspan="5">チラシ、市HPなど、積極的な広報が実を結び、目標値をはるかに超えることが出来た。</td> </tr> </tbody> </table>	目標・KPI		目標値(時点)		報告時(時点)		セミナー等参加者数	(アウトプット)	定員の70%	(R6)	定員の98.3%	(R6)	評価	評価の理由、事情等					1.達成(予定含む)	チラシ、市HPなど、積極的な広報が実を結び、目標値をはるかに超えることが出来た。				
	目標・KPI		目標値(時点)		報告時(時点)																				
	セミナー等参加者数	(アウトプット)	定員の70%	(R6)	定員の98.3%	(R6)																			
	評価	評価の理由、事情等																							
	1.達成(予定含む)	チラシ、市HPなど、積極的な広報が実を結び、目標値をはるかに超えることが出来た。																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標・KPI</th> <th colspan="2">目標値(時点)</th> <th colspan="2">報告時(時点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セミナー等参加者の重熟度</td> <td>(アウトカム)</td> <td>参加者の70%</td> <td>(R6)</td> <td>参加者の97.9%</td> <td>(R6)</td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td colspan="5">評価の理由、事情等</td> </tr> <tr> <td>1.達成(予定含む)</td> <td colspan="5">セミナー講師の熱心な説明を参加者が真摯に受け止めた結果と思われる</td> </tr> </tbody> </table>	目標・KPI		目標値(時点)		報告時(時点)		セミナー等参加者の重熟度	(アウトカム)	参加者の70%	(R6)	参加者の97.9%	(R6)	評価	評価の理由、事情等					1.達成(予定含む)	セミナー講師の熱心な説明を参加者が真摯に受け止めた結果と思われる				
目標・KPI		目標値(時点)		報告時(時点)																					
セミナー等参加者の重熟度	(アウトカム)	参加者の70%	(R6)	参加者の97.9%	(R6)																				
評価	評価の理由、事情等																								
1.達成(予定含む)	セミナー講師の熱心な説明を参加者が真摯に受け止めた結果と思われる																								
7. 今後の課題	<p>・事業者向けに関しては、セミナー受講後アンケートから、大卒程度の女性が働きたいと思える事業者を増やすべき、との声があり、また、若年女性の転出が超過となっていることから産業振興担当課と連携し、引き続き女性活躍推進の前提となる、仕事と家庭の両立を支援するマネジメントや人材育成、制度の運用など、職場の環境整備を図る必要がある。</p> <p>・女性に対しては、こうした課題に対応するためにもモチベーションアップや就労継続に資する内容とし、参加を促進するテーマ設定を行い、講座を実施する必要があると思われる。</p> <p>・男性に対しては、受講後アンケートにおいて、育児やパートナーシップについての関心の高さや悩みを抱えている様子がうかがえたため、引き続き生産年齢の男性対象に家事・育児参画を促進する取組を継続し、ワーク・ライフ・バランスの推進と女性の負担軽減を図る必要がある。</p> <p>今後も、相応の集客を図るため、オンライン、動画配信、対面方式等、それぞれの特性を生かして、実施方法も検討することとする。</p>																								

注1)「3. 総事業費」の内容については、別途、単価、員数、日数等が分かる積算資料を添付してください。

注2)本様式はA4で2枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。